

統計からみた 安八町 の現状

| 総面積km ² | 割合% | 順位 |
|--------------------|------|----|
| 18.16 | 0.17 | 37 |

※割合：県全体に占める割合



岐阜県 統計課
2026年3月更新

安八町の人口は2015年頃から減少している

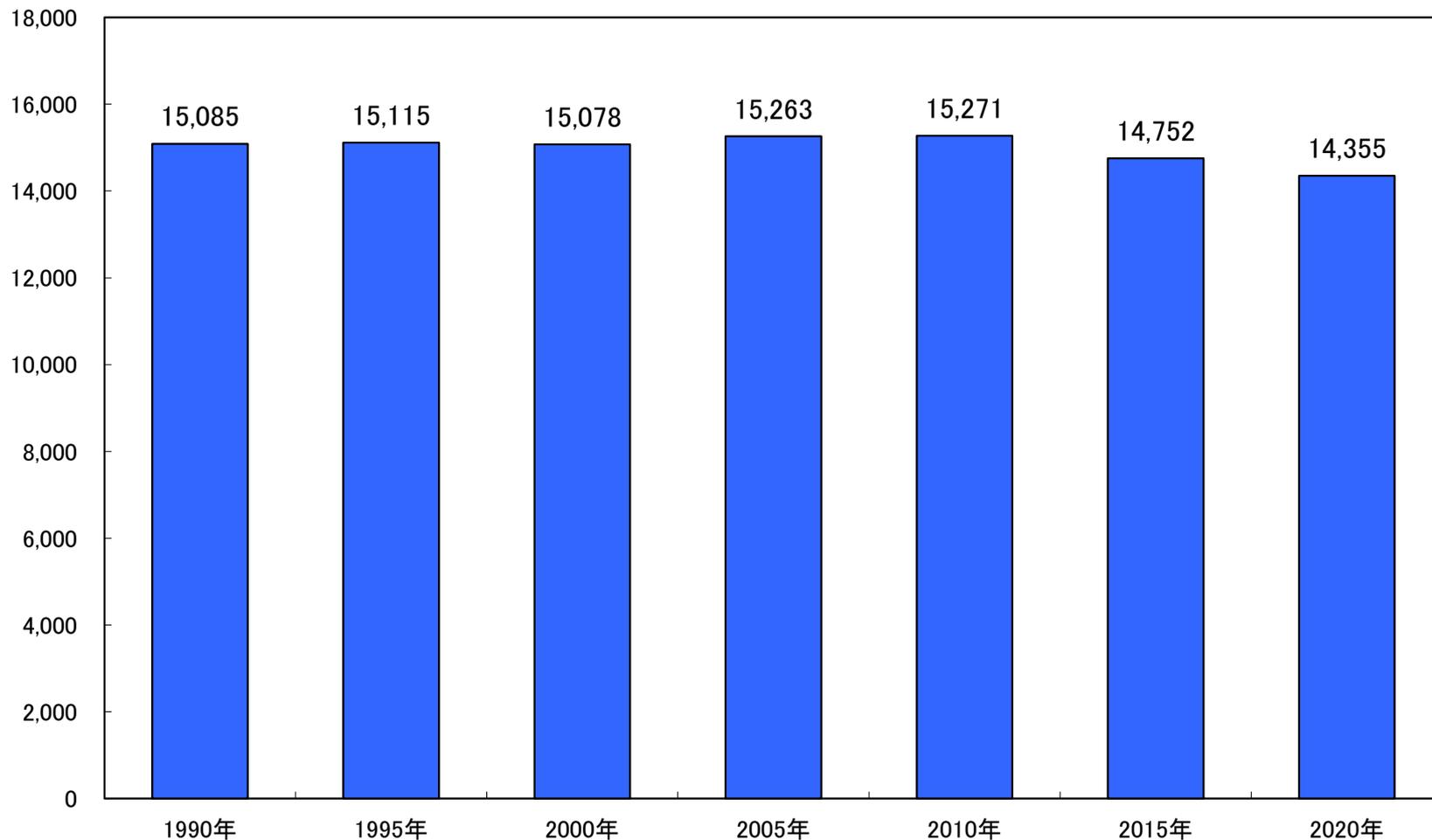
2010年：15,271人 → 2015年：14,752人 (△519人)

2015年：14,752人 → 2020年：14,355人 (△397人)

人口順位：県内32位 県人口に占める割合：0.7% (1990年) →0.7% (2020年)

(人)

総人口の推移(安八町)

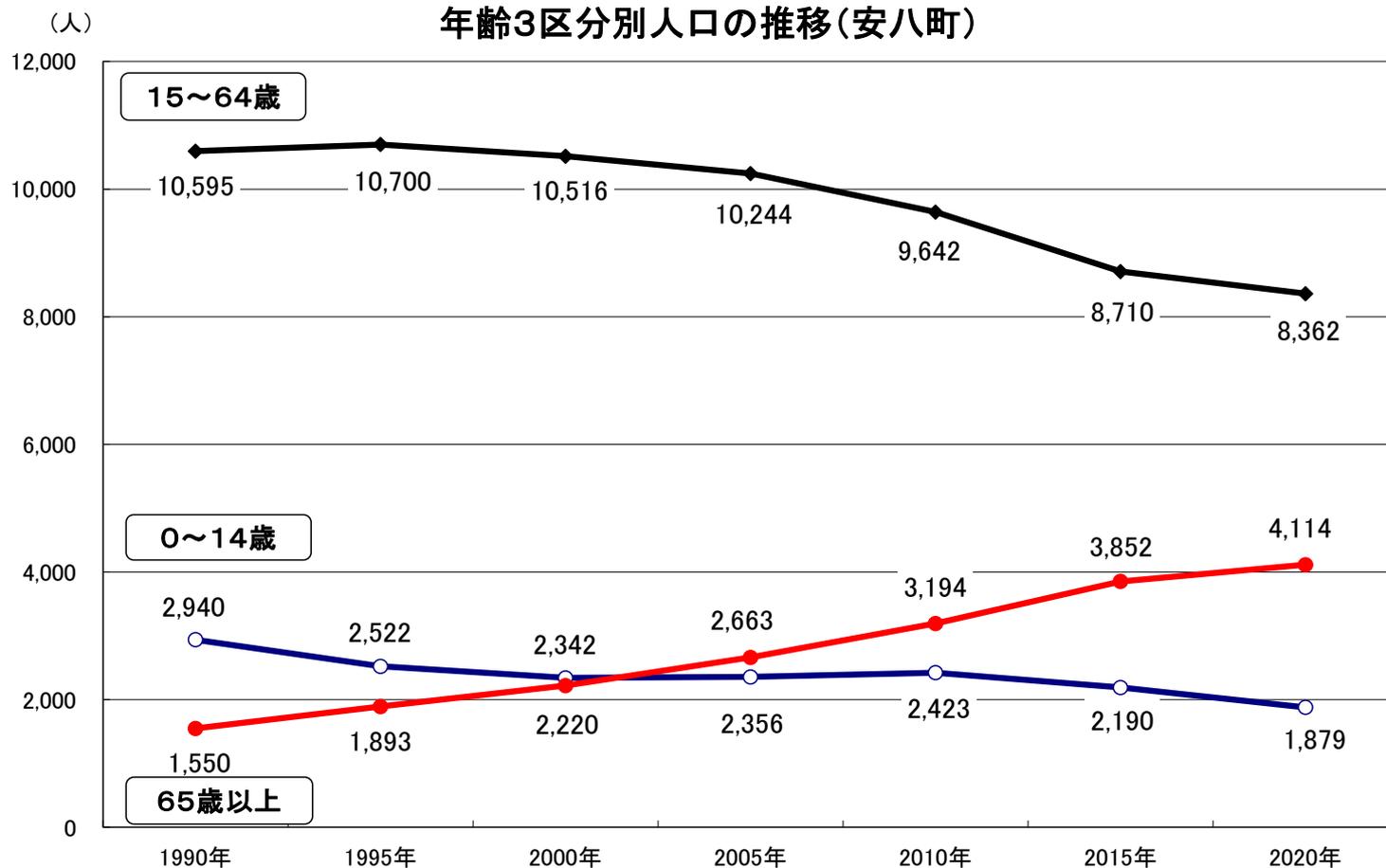


0～14歳の子どもが減り続ける一方、65歳以上の高齢者は増加 15～64歳人口は2000年頃から減少が続く

| 人口の増減数 | 2010→ 2015年 | 2015→ 2020年 |
|--------|----------------|----------------|
| 0～14歳 | △ 233 | △ 311 |
| 15～64歳 | △ 932 | △ 348 |
| 65歳以上 | 658 | 262 |

| | 年齢3区分別人口の割合 (2020年) | | |
|--------|---------------------|-------|------|
| | 安八町 | 岐阜県 | 県内順位 |
| 0～14歳 | 13.1% | 12.3% | 8位 |
| 15～64歳 | 58.3% | 57.3% | 13位 |
| 65歳以上 | 28.7% | 30.4% | 31位 |

年齢3区分別人口の推移(安八町)



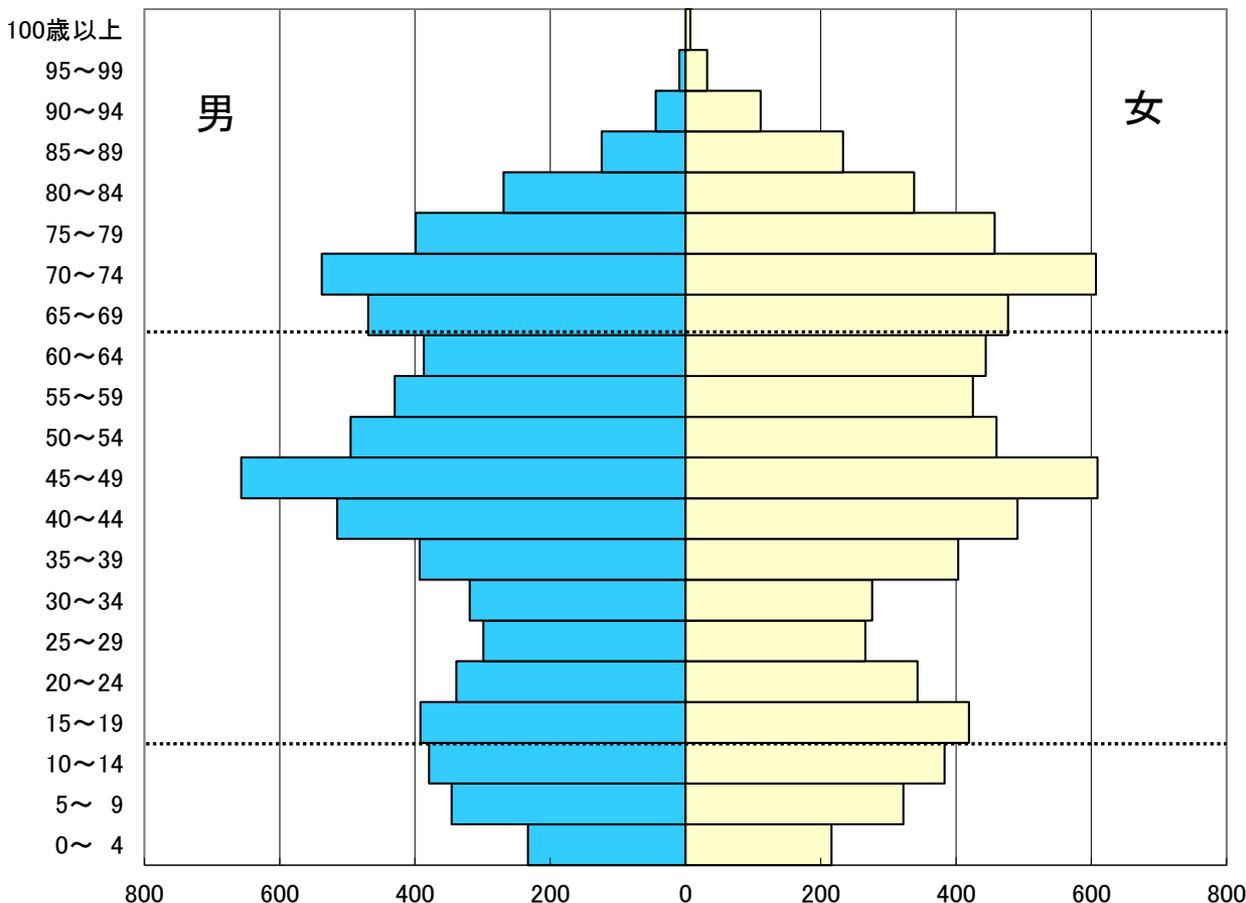
団塊世代と団塊ジュニア世代が多い人口構造

0～14歳人口が総人口に占める割合は、県内8位と高い方。

団塊の世代が65歳以上となり、65歳以上人口は増加した。

人口に占める65歳以上人口の割合 1990年：10.3%（35位）→ 2020年：28.7%（31位）

2020年人口ピラミッド(安八町)



| | 人口(人) | 構成比(%) |
|--------|--------|--------|
| 総人口 | 14,355 | 100.0 |
| 0～14歳 | 1,879 | 13.1 |
| 15～64歳 | 8,362 | 58.3 |
| 65歳以上 | 4,114 | 28.7 |

<岐阜県全体の人口構成>

- ・0～14歳 : 12.3%
- ・15～64歳 : 57.3%
- ・65歳以上 : 30.4%

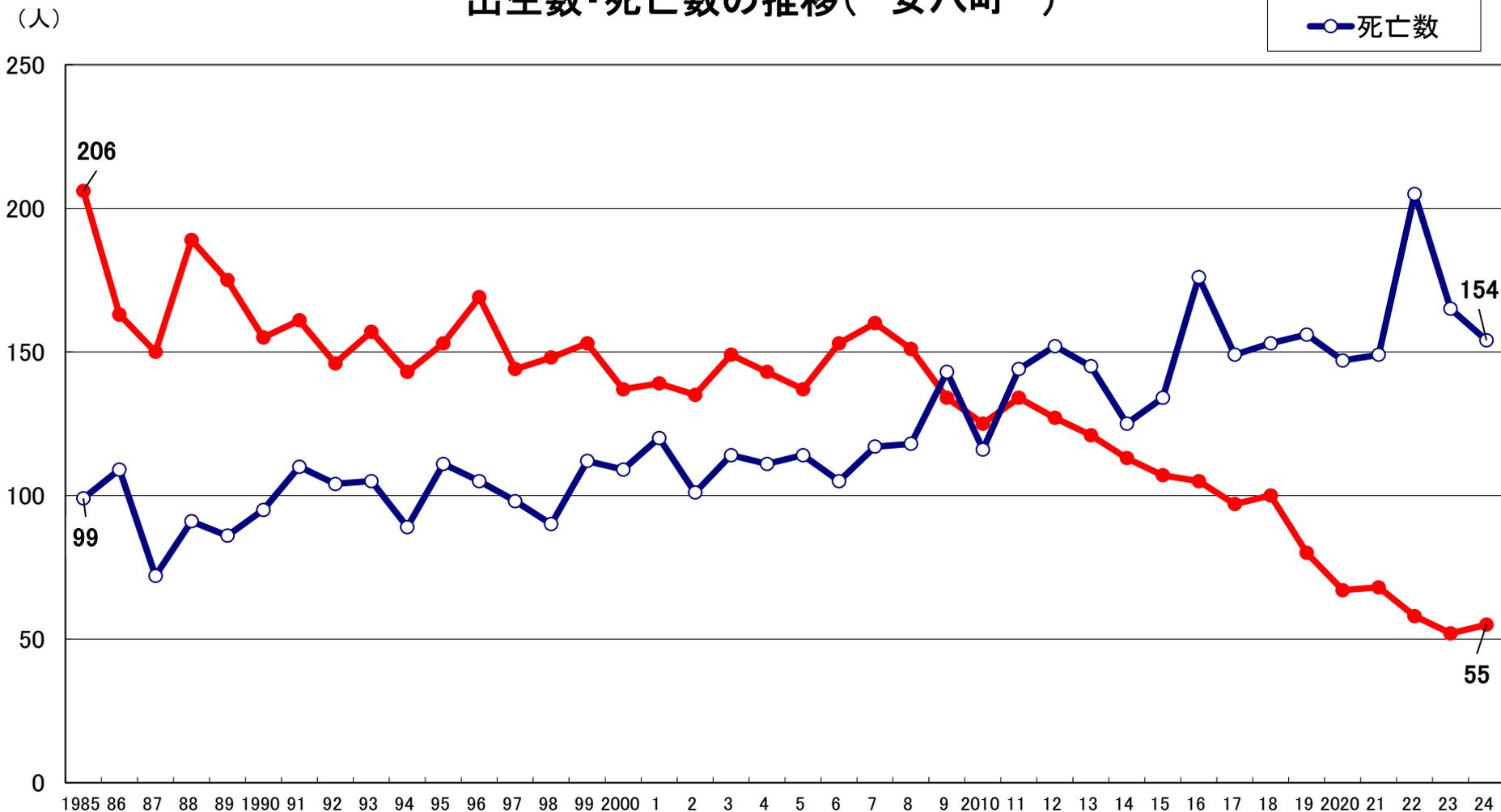
<構成比の県内順位>

- ・0～14歳人口 : 8位
 - ・15～64歳人口 : 13位
 - ・65歳以上人口 : 31位
- ※数値の大きい順

出生数が減少する一方、死亡数が増加 2011年以降、死亡数が出生数を上回る自然減少が続く

2024年の自然動態：出生数55人 死亡数154人 99人の自然減少

出生数・死亡数の推移（安八町）

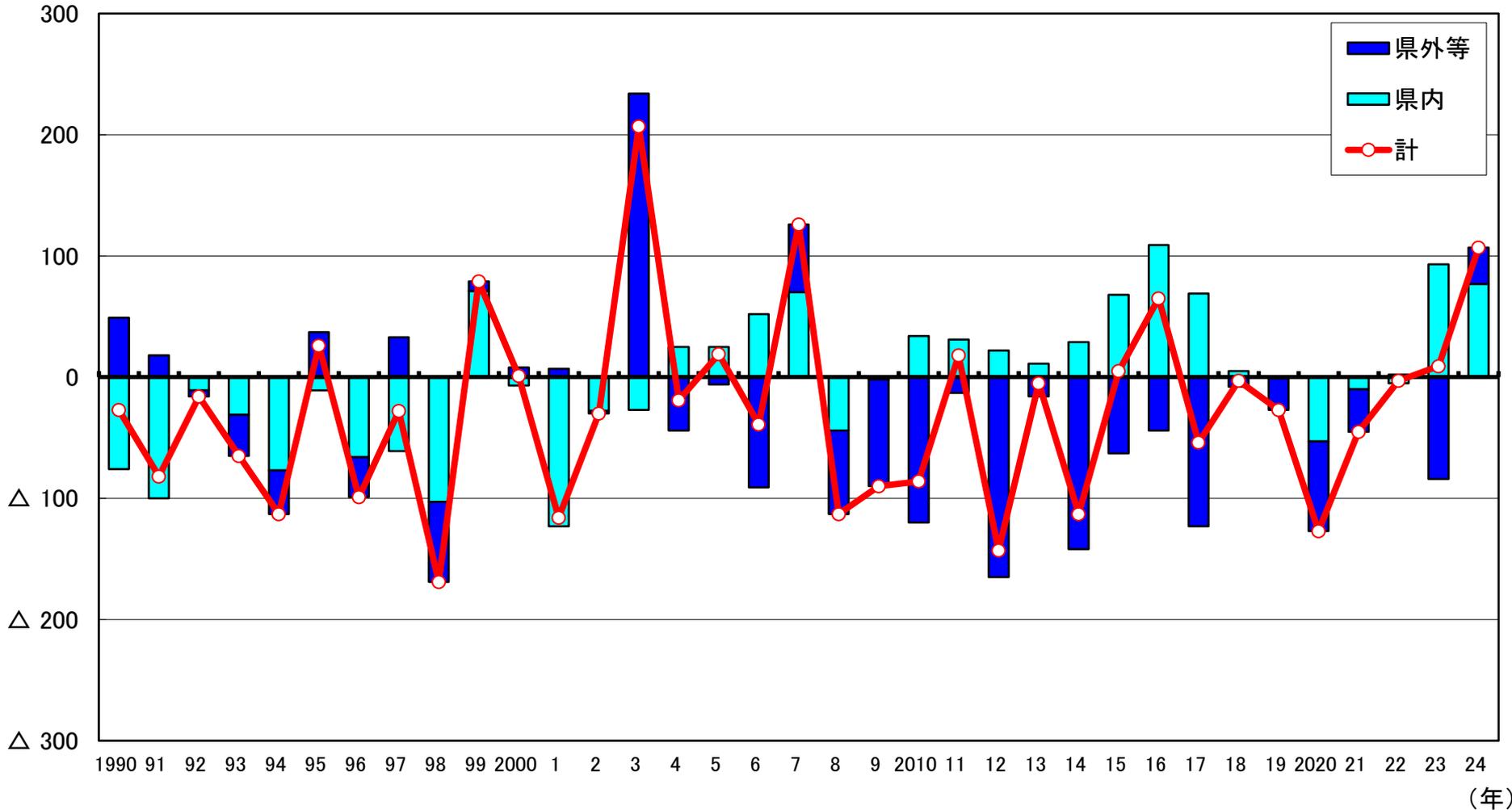


出典：厚生労働省「人口動態統計」（日本人 1～12月の年計）

2008年以降、県外を中心に転出超過の傾向

2024年の社会動態：転入 647人 転出 540人 107人の転入超過

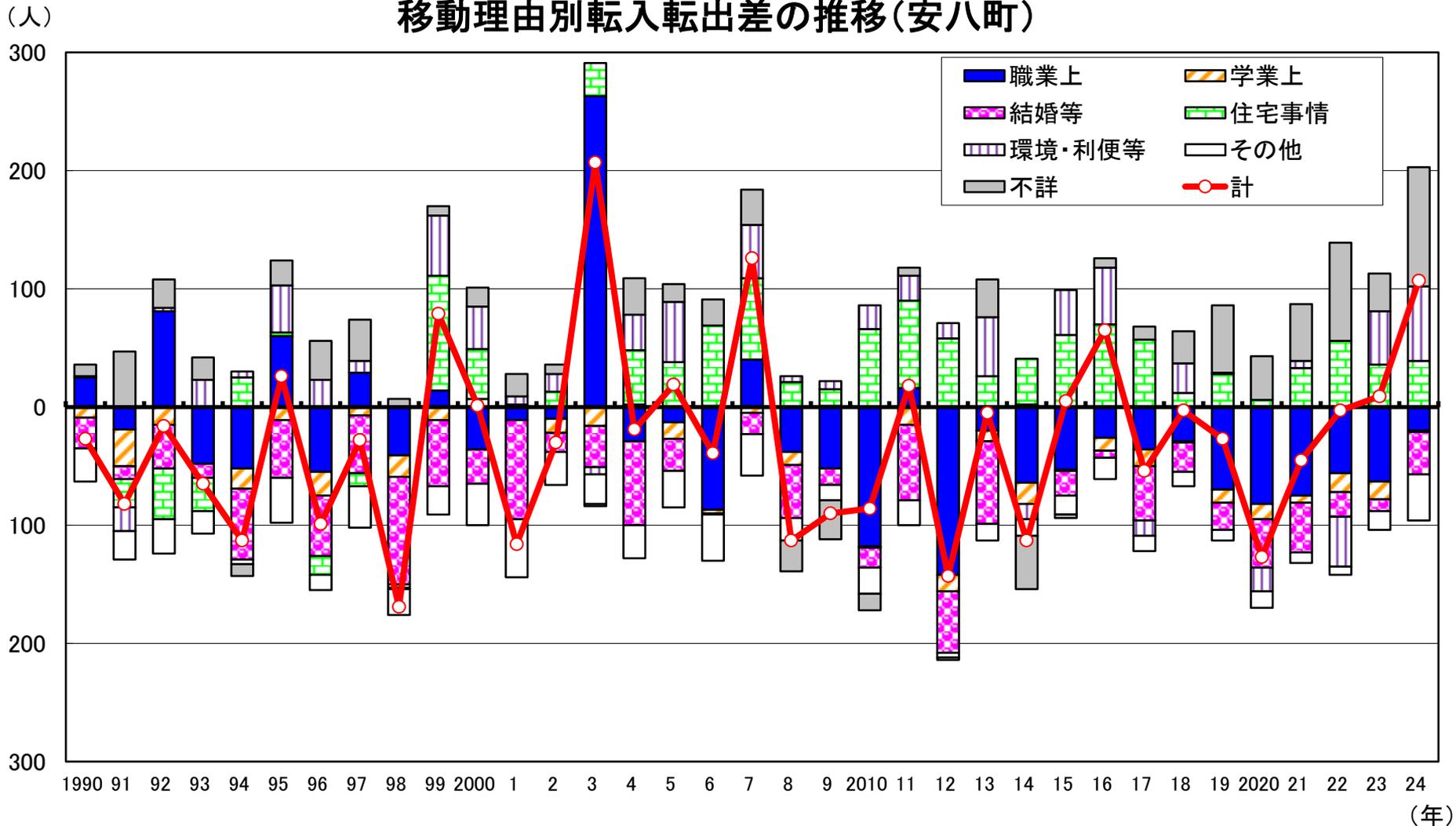
(人) 県内・県外等別転入転出差の推移(安八町)



出典：岐阜県「岐阜県人口動態統計調査」 ※計、県外等には職権記載等を含む。 ※転入転出数は前年10月1日～同年9月30日の合計

住宅事情を理由としての転入超過が見られる 職業上、結婚等を理由とした転出超過が続く

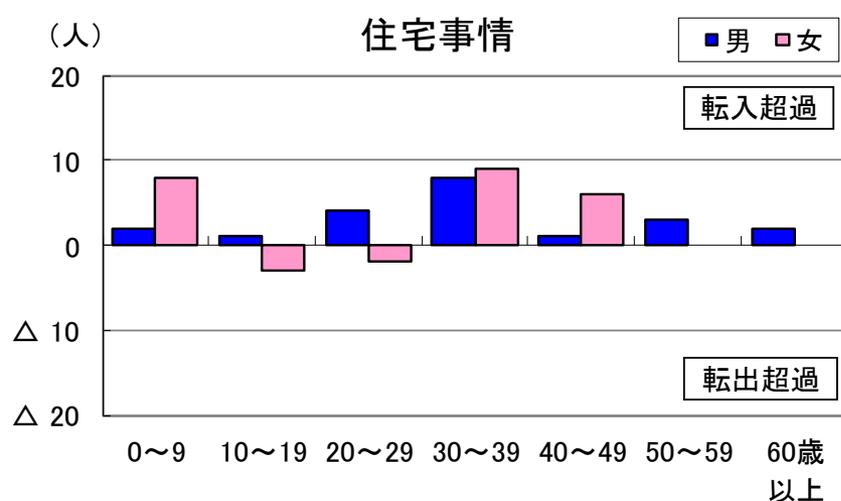
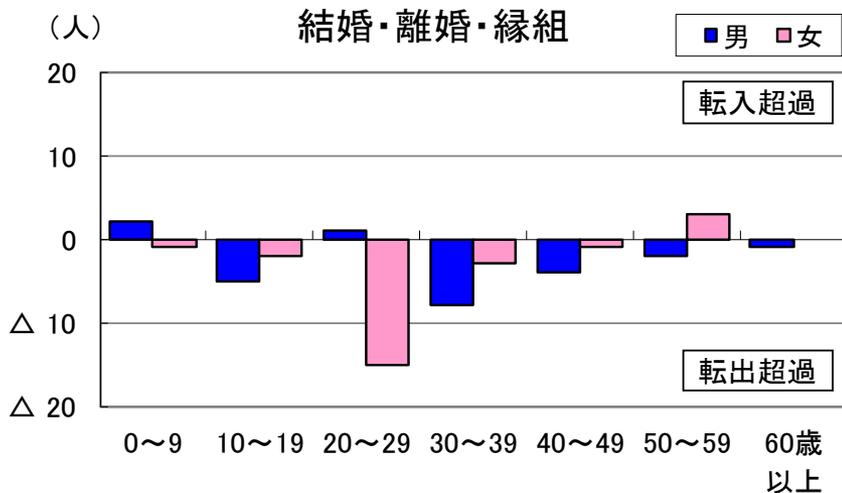
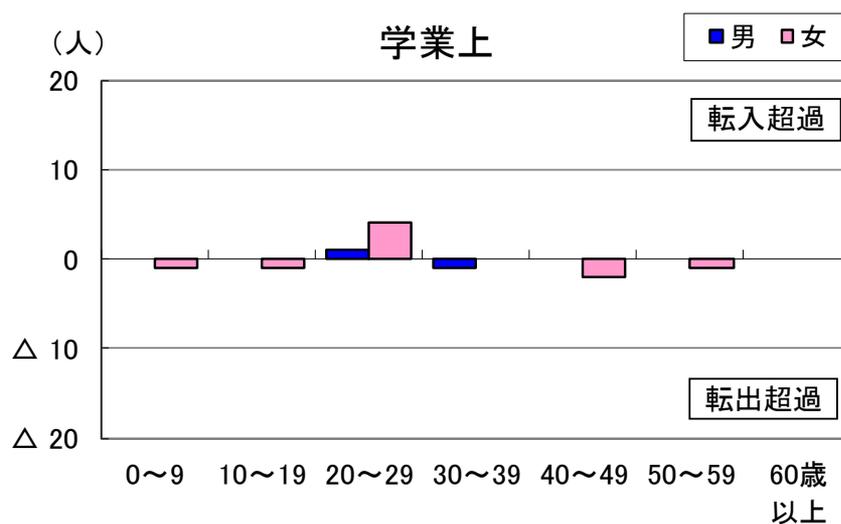
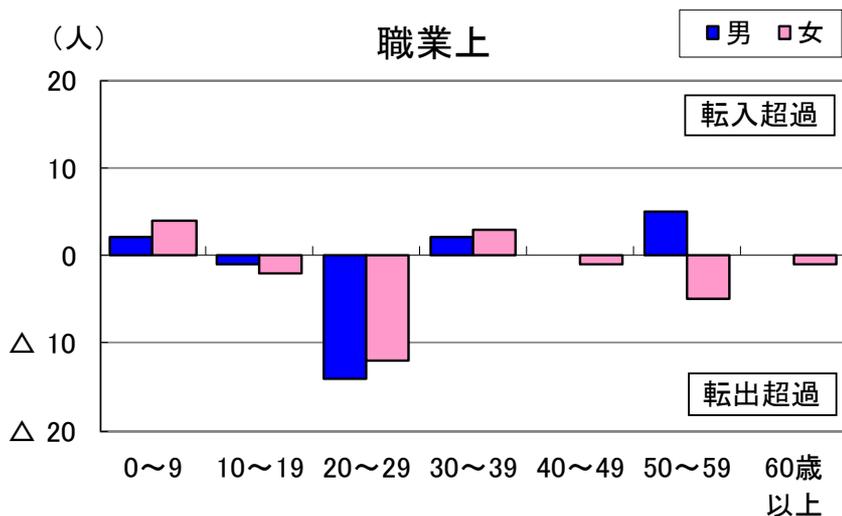
移動理由別転入転出差の推移(安八町)



出典: 岐阜県「岐阜県人口動態統計調査」「岐阜県転入転出理由実態調査」(不詳=外国人+職権、環境・利便等=生活環境の利便+自然環境+交通の利便)

職業上、結婚等を理由とした20代の転出超過が多い 住宅事情を理由とした転入超過も多い

主な移動理由でみた世代別日本人の社会動態(安八町 2024年)

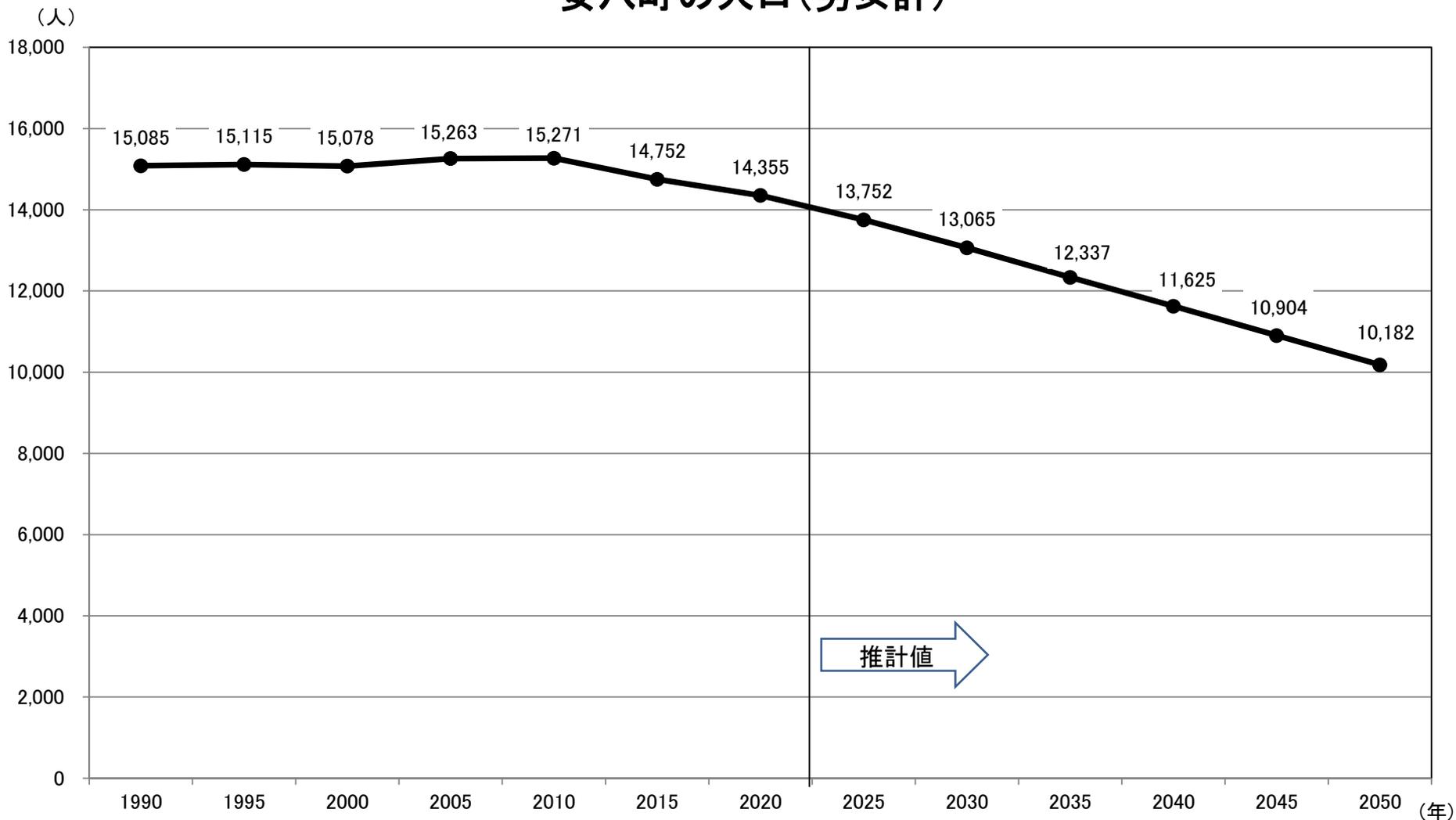


出典: 岐阜県「岐阜県人口動態統計調査」「岐阜県転入転出理由実態調査」2024年 ※社会動態=転入者数-転出者数

参考：将来の人口の見通し（総人口の推移）

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」

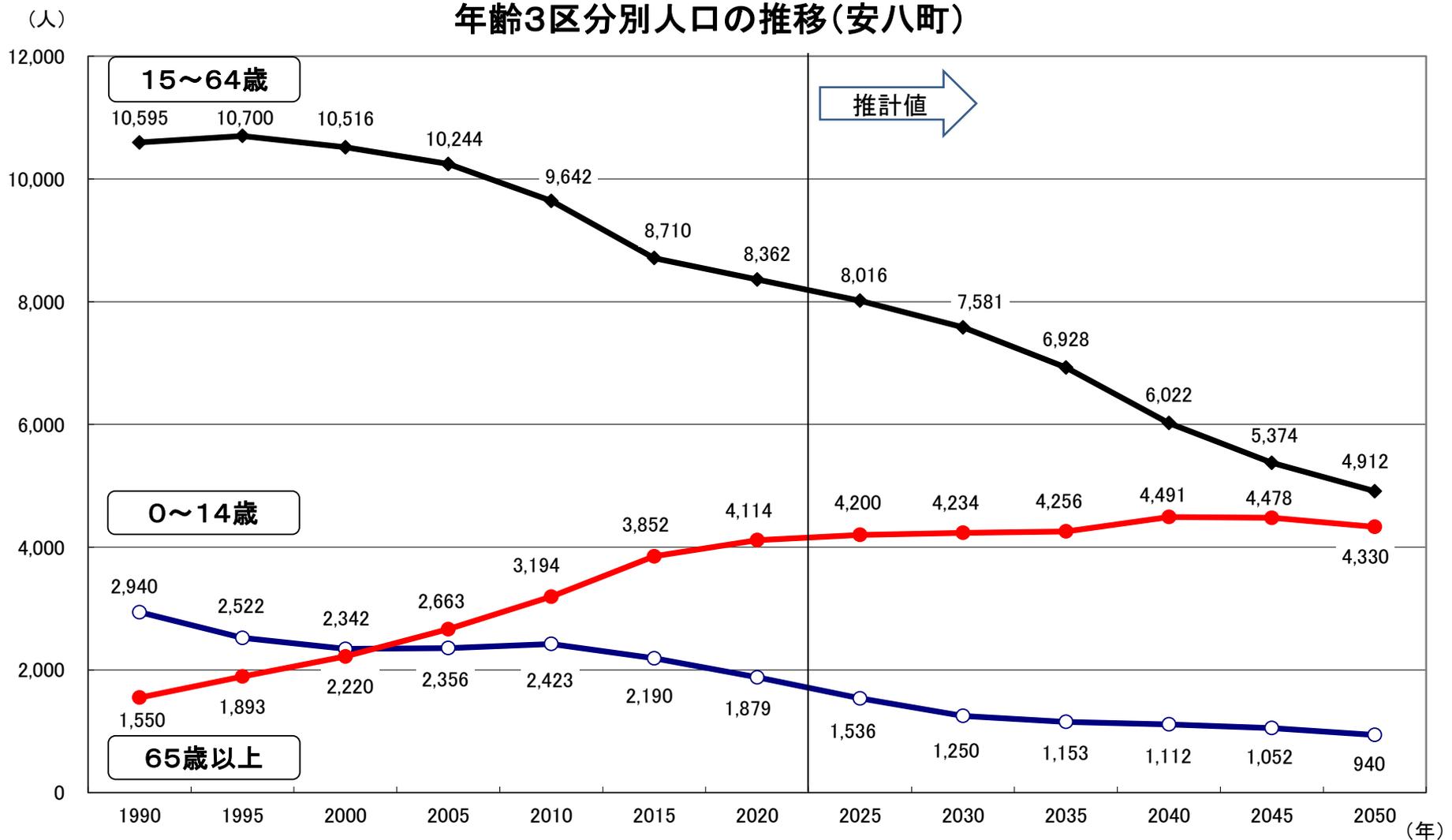
安八町の人口(男女計)



出典：総務省「国勢調査」、2025年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」

参考：将来の人口の見通し（年齢3区分別人口の推移）

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」



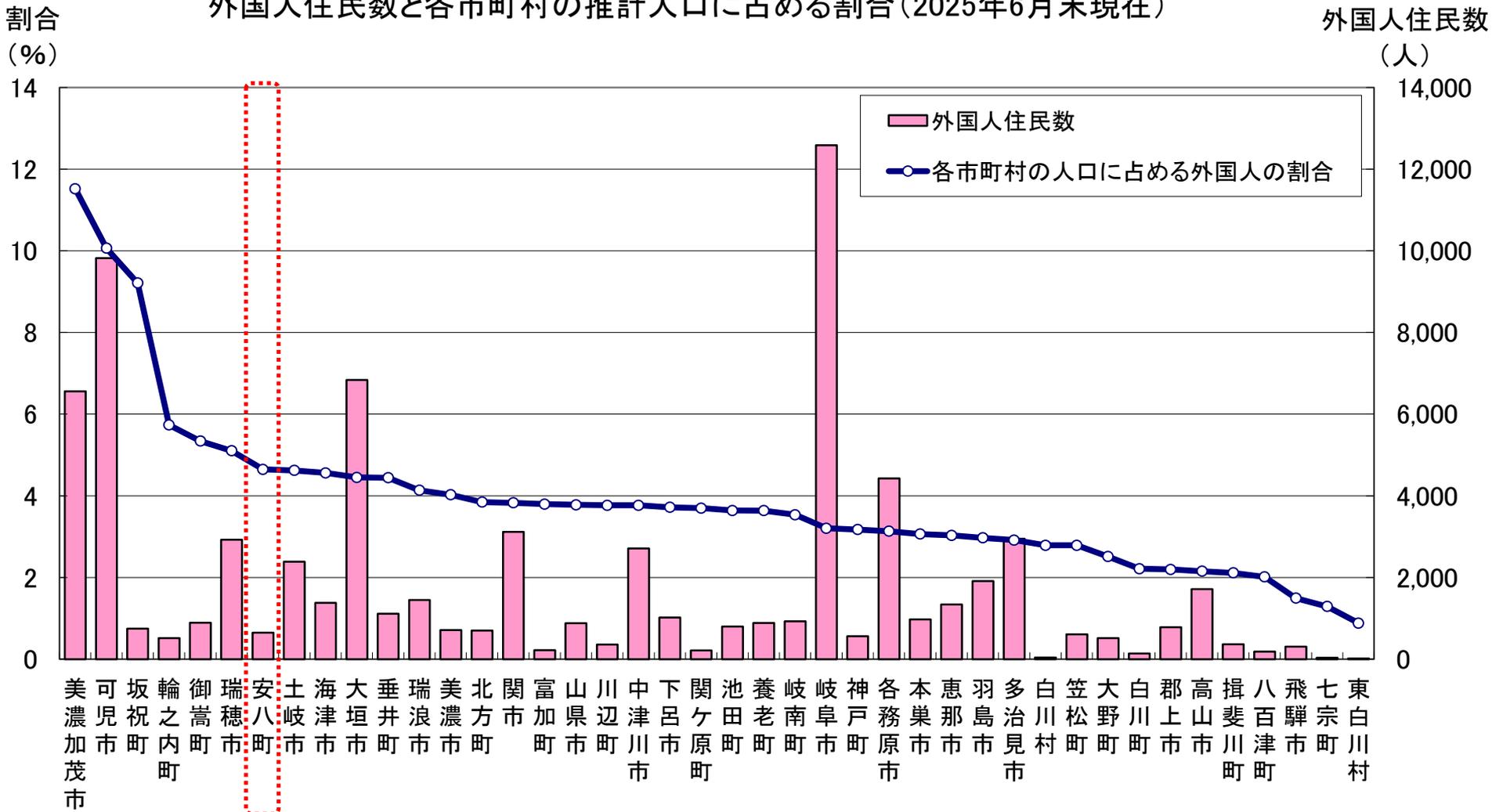
出典：総務省「国勢調査」、2025年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」

注：2015年、2020年の年齢3区分別人口は、不詳補完値。

人口に占める外国人の割合は4.6%（県内7位）

岐阜県の外国人住民数77,301人のうち、安八町の外国人住民数（650人）は0.8%を占める

外国人住民数と各市町村の推計人口に占める割合（2025年6月末現在）



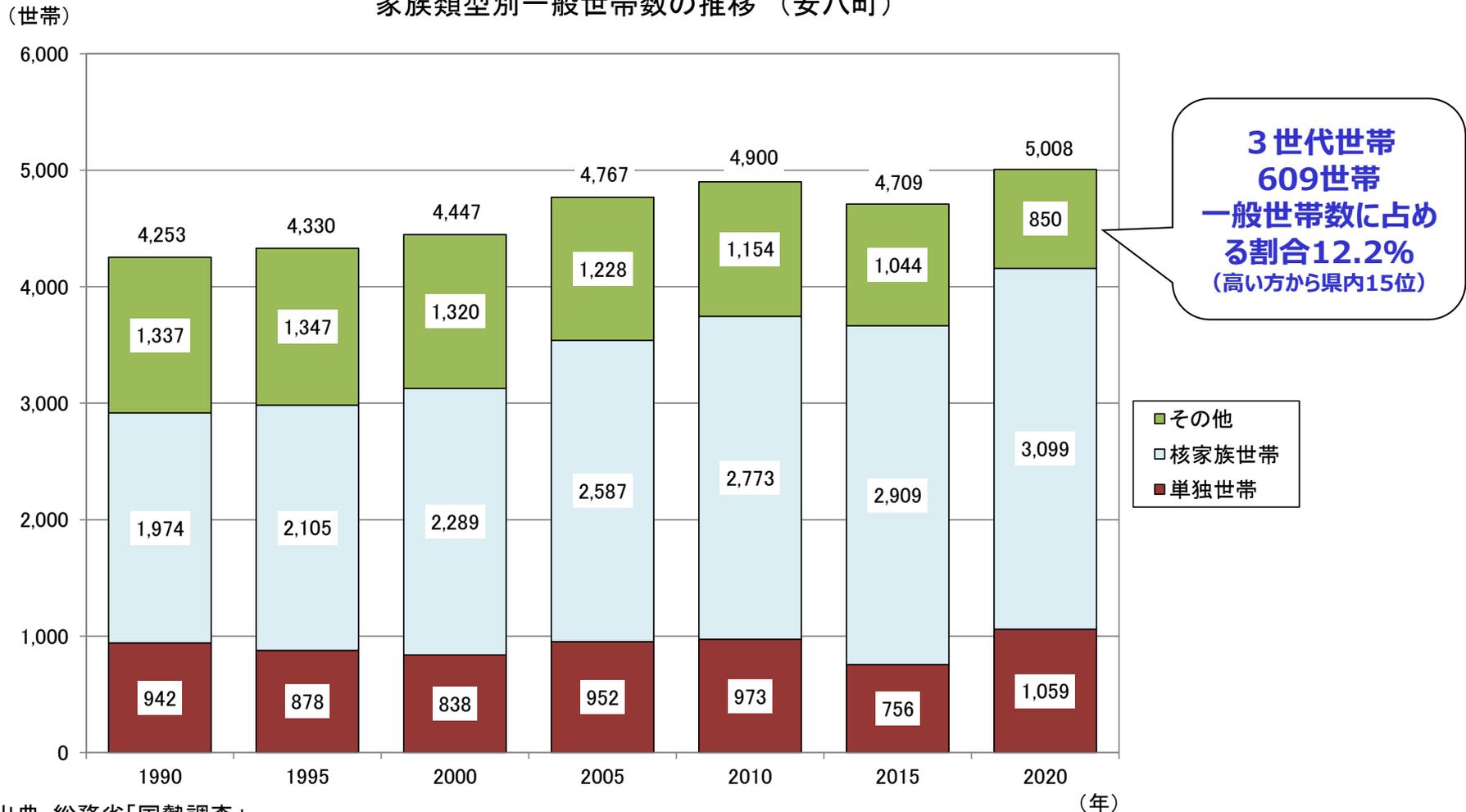
出典：法務省出入国在留管理庁「在留外国人統計（2025年6月末現在）」、割合は岐阜県「人口動態統計調査」による推計人口（2025年7月1日現在）により算出。

一般世帯数は増加傾向にある一方、1世帯当たり人員は減少 核家族世帯が増加している

単独世帯は1990年以降の30年間で1.1倍に。

1世帯当たり人員数：3.09人（2010年）→2.83人（2020年 県内2位）

家族類型別一般世帯数の推移（安八町）

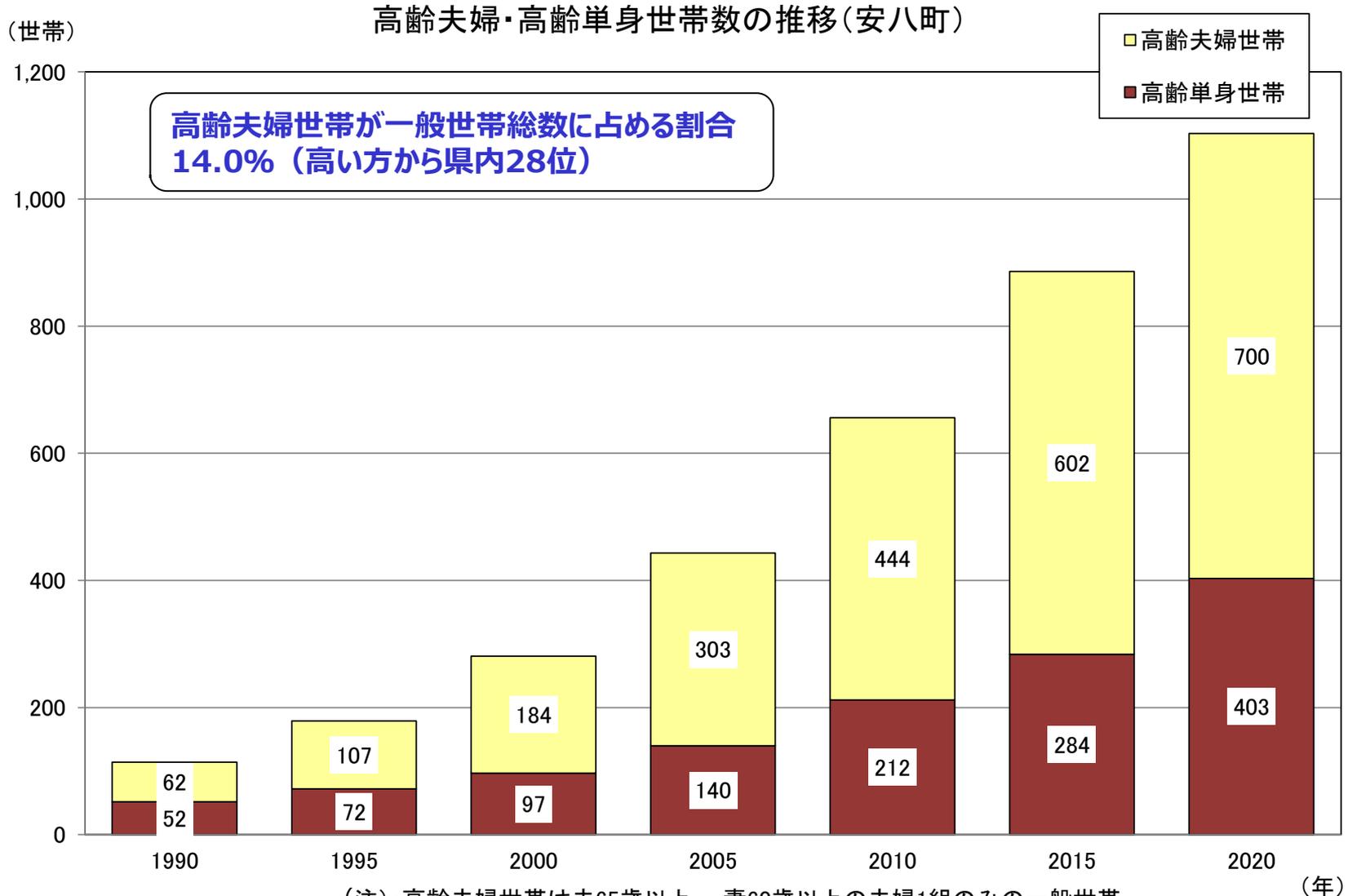


出典：総務省「国勢調査」

注：一般世帯は、病院、社会福祉施設などで生活する人を除いたもの。

高齢夫婦世帯や高齢単身世帯が大きく増加

1990年以降の30年間で高齢夫婦世帯は11.3倍に、高齢単身世帯は7.8倍に増加。



(注)・高齢夫婦世帯は夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦1組のみの一般世帯

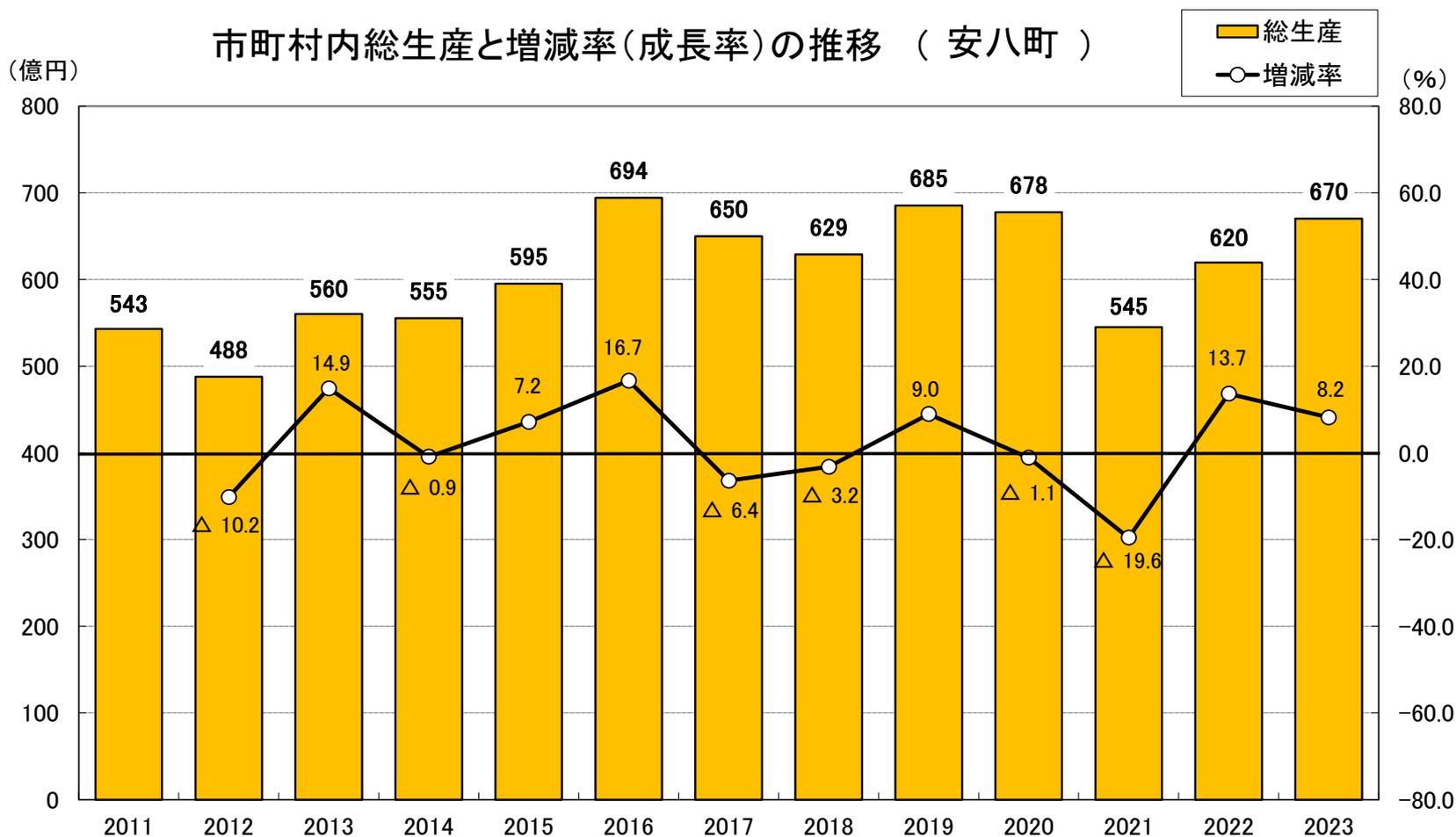
・高齢単身世帯は65歳以上の一人のみの一般世帯

安八町の総生産は670億円 1人当たり市町村民所得は331万7千円

総生産は県（名目8兆3862億円）の0.8%、県内30位

1人当たり市町村民所得は県（326万4千円）の101.6%、県内13位

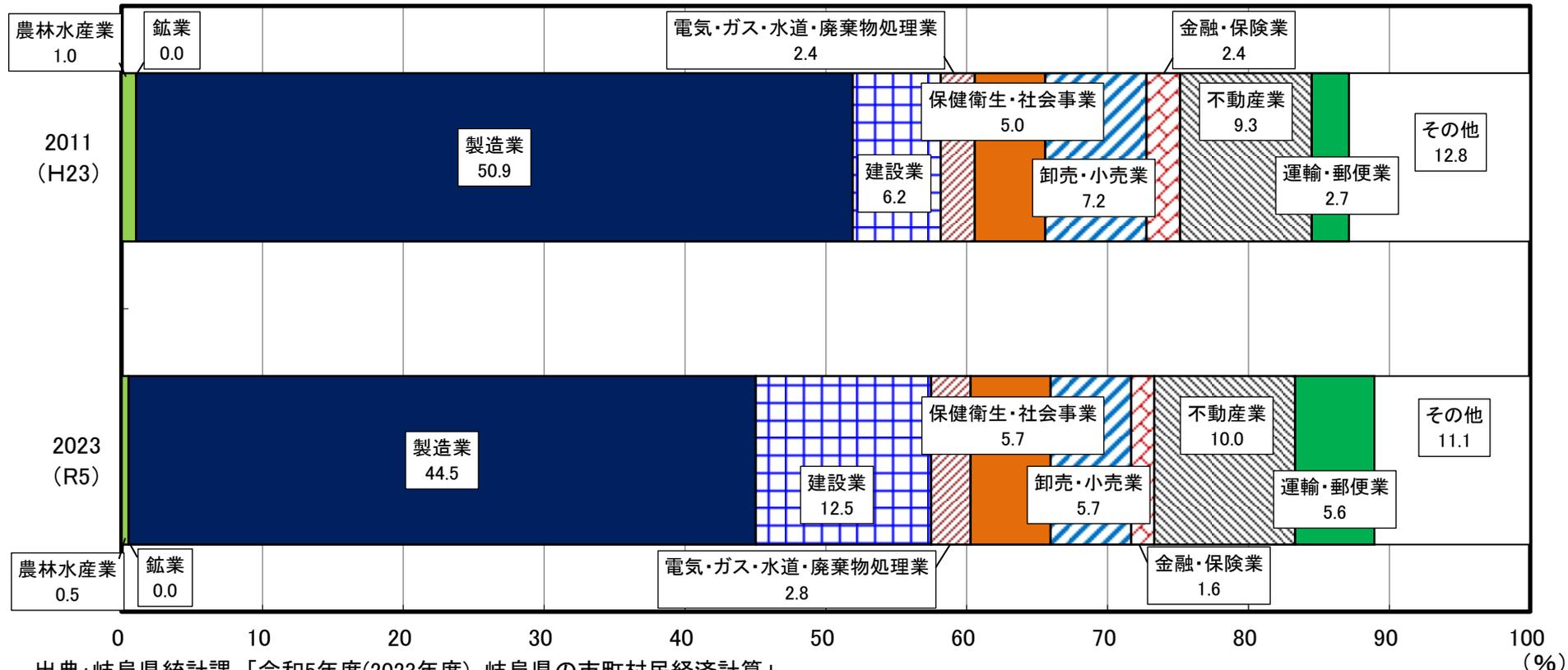
※ 1人当たり所得には企業所得等を含み、市町村全体の経済水準を示すもの



第2次産業が57%、第3次産業が42%を占める産業構造

製造業の割合が高い

市町村内総生産の経済活動別構成比 (安八町)



出典: 岐阜県統計課「令和5年度(2023年度)岐阜県の市町村民経済計算」

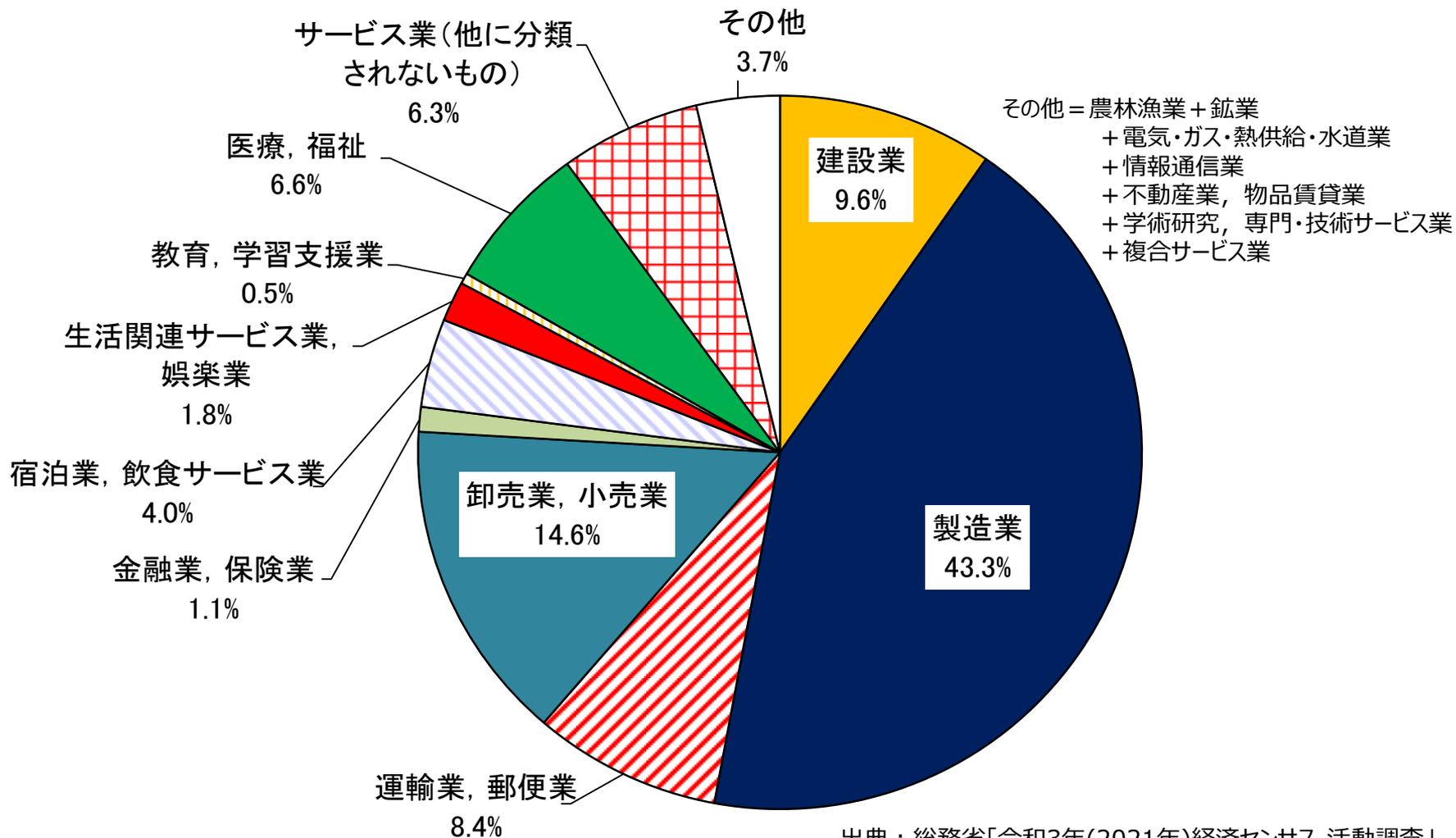
注1: 「不動産業」には、持ち家の帰属家賃を含んでいる。

注2: 「その他」は、宿泊・飲食サービス業、情報通信業、専門・科学技術、業務支援サービス業、公務、教育、その他のサービスの合計。

なお、輸入品に課される税・関税等も含めている。

産業別の従業者数は、製造業が43.3%と最も多く、 次いで卸売業、小売業が14.6%を占める

産業別従業員数の構成比(安八町 2021年)



出典：総務省「令和3年(2021年)経済センサス-活動調査」
注：事業内容等が不詳の事業所を除く。公務を除く。

産業別従業者でみると、全国と比べて、製造業、建設業、運輸業、郵便業の特化係数が高いことが特徴

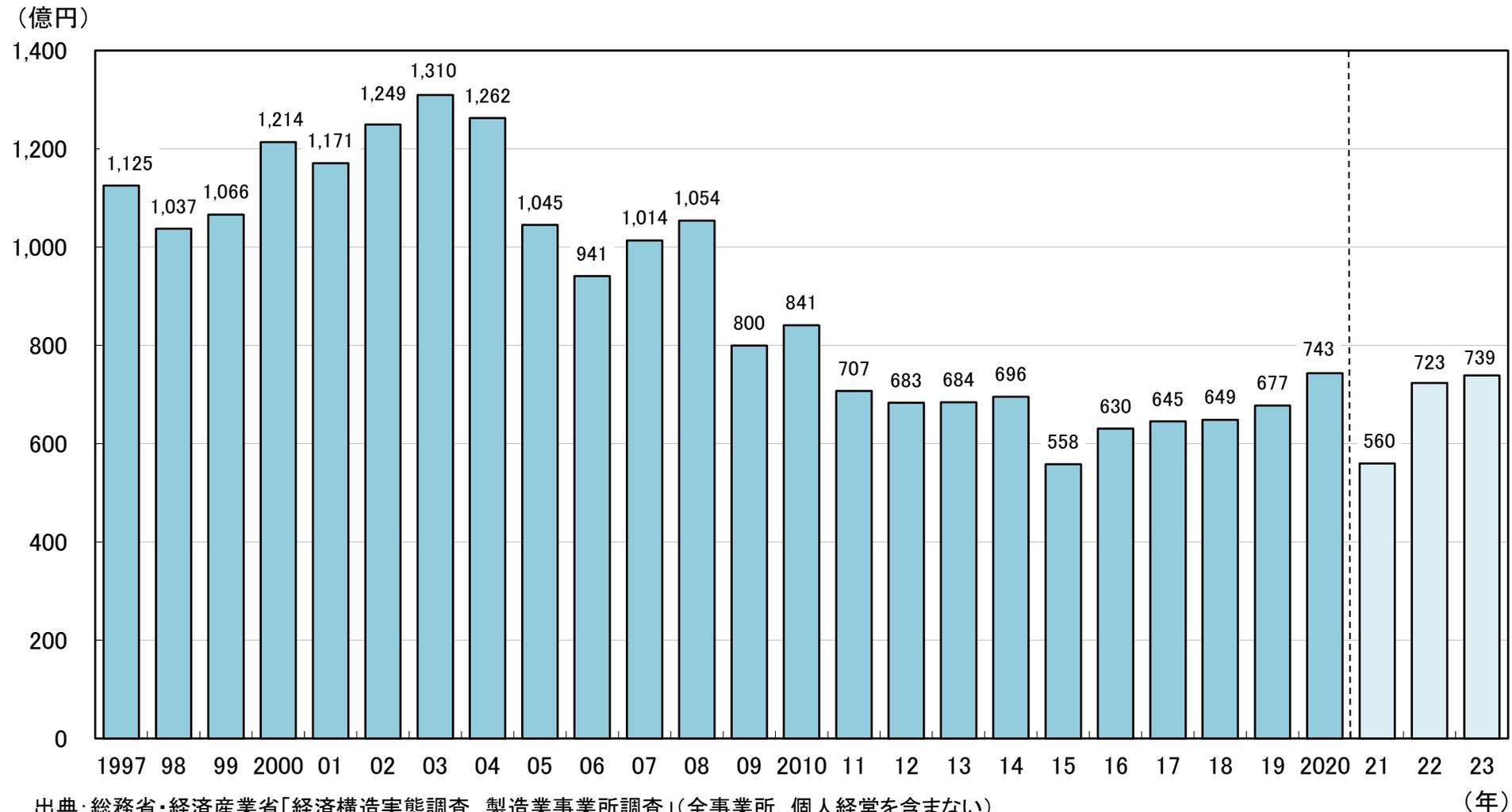
産業別事業所数、従業者数（安八町 2021年）

| | 事業所数 | 従業者数 | | 産業別従業者数の構成比による特化係数 | |
|-------------------|------|-------|-------|--------------------|--------|
| | | (人) | 構成比 | 全国=1.00 | 県=1.00 |
| 総数 | 463 | 5,188 | 100.0 | 1.00 | 1.00 |
| 農林漁業 | 4 | 29 | 0.6 | 0.71 | 0.52 |
| 鉱業 | 0 | 0 | 0.0 | 0.00 | 0.00 |
| 建設業 | 79 | 500 | 9.6 | 1.49 | 1.41 |
| 製造業 | 114 | 2,245 | 43.3 | 2.85 | 1.75 |
| 電気・ガス・熱供給・水道業 | 2 | 2 | 0.0 | 0.11 | 0.13 |
| 情報通信業 | 1 | 5 | 0.1 | 0.03 | 0.13 |
| 運輸業、郵便業 | 14 | 436 | 8.4 | 1.49 | 1.86 |
| 卸売業、小売業 | 84 | 758 | 14.6 | 0.73 | 0.76 |
| 金融業、保険業 | 6 | 58 | 1.1 | 0.43 | 0.49 |
| 不動産業、物品賃貸業 | 12 | 85 | 1.6 | 0.59 | 0.93 |
| 学術研究、専門・技術サービス業 | 8 | 41 | 0.8 | 0.22 | 0.35 |
| 宿泊業、飲食サービス業 | 40 | 208 | 4.0 | 0.50 | 0.49 |
| 生活関連サービス業、娯楽業 | 34 | 94 | 1.8 | 0.48 | 0.45 |
| 教育、学習支援業 | 5 | 25 | 0.5 | 0.14 | 0.18 |
| 医療、福祉 | 29 | 345 | 6.6 | 0.47 | 0.50 |
| 複合サービス事業 | 3 | 31 | 0.6 | 0.79 | 0.66 |
| サービス業（他に分類されないもの） | 28 | 326 | 6.3 | 0.70 | 0.87 |

出典：総務省「令和3年(2021年)経済センサス-活動調査」
注) 事業内容等が不詳の事業所を除く。公務を除く。

2023年の製造品出荷額等は、739億円

製造業製造品出荷額等の推移（安八町）



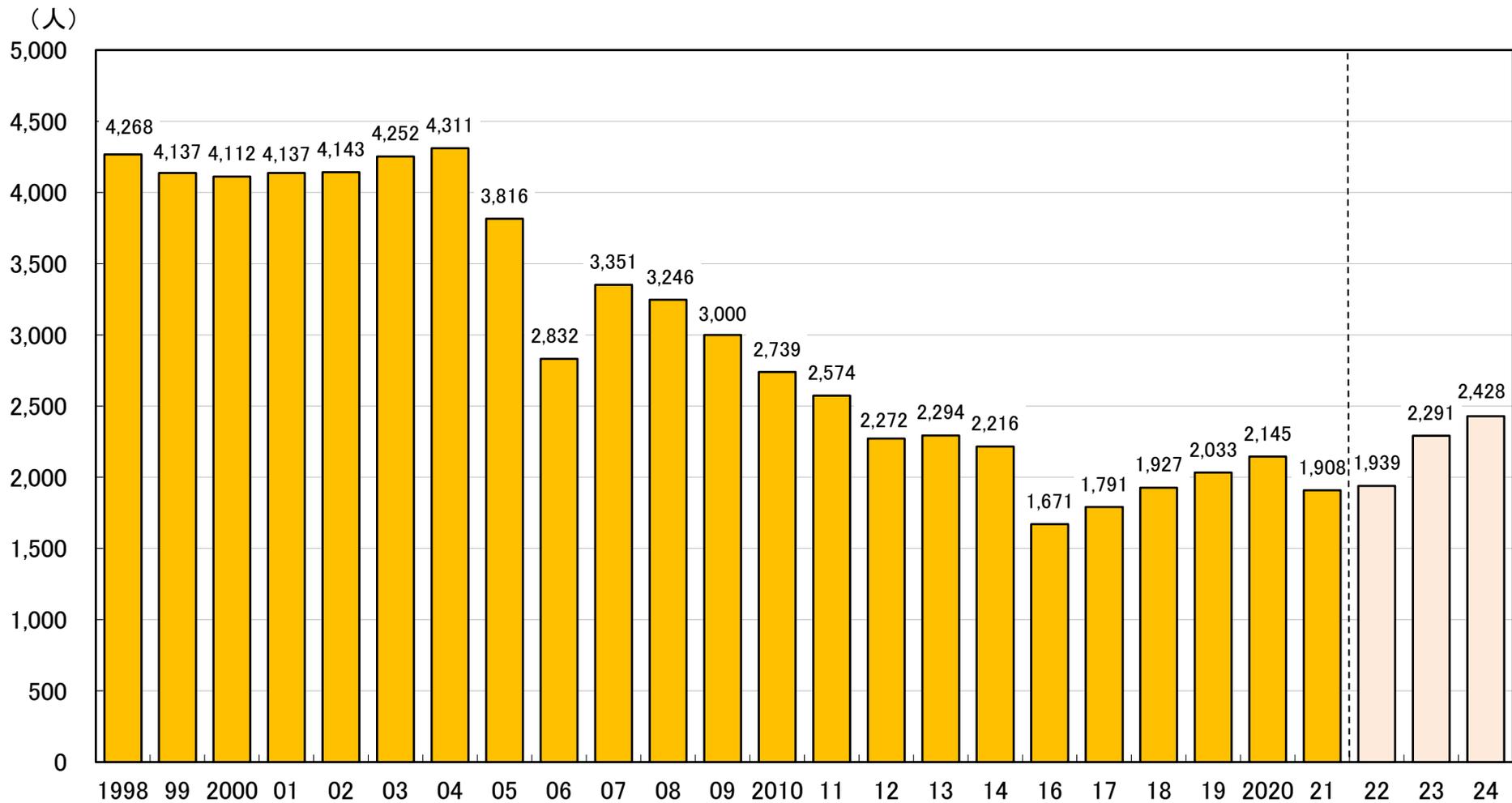
出典：総務省・経済産業省「経済構造実態調査 製造業事業所調査」(全事業所、個人経営を含まない)

1997年～2019年は経済産業省「工業統計」(従業者4人以上)、ただし2011年、2015年、2020年は総務省「経済センサス-活動調査」(従業者4人以上)

注：「経済構造実態調査 製造業事業所調査」と「工業統計」、「経済センサス-活動調査」は集計範囲等が異なるため単純比較できない。

製造業の従業者数は、2005年以降減少傾向

製造業従業者数の推移（安八町）



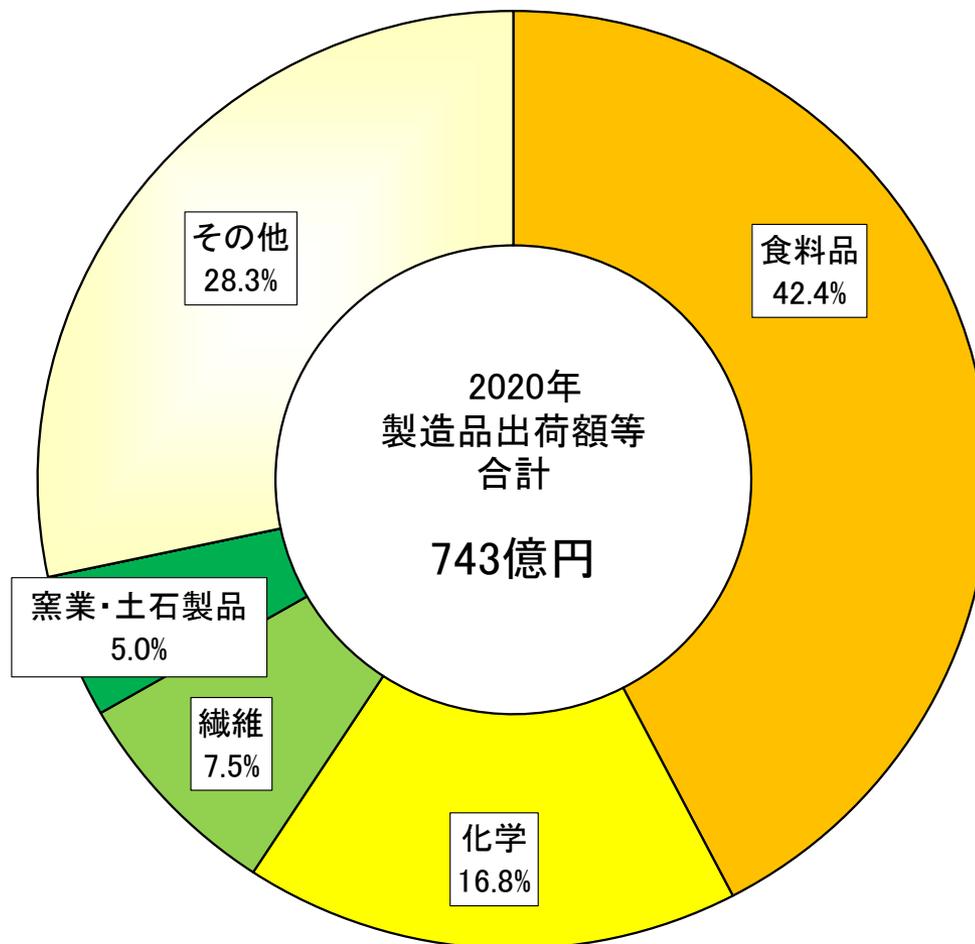
出典：総務省・経済産業省「経済構造実態調査 製造業事業所調査」（全事業所、個人経営を含まない）

1998年～2020年は経済産業省「工業統計」（従業者4人以上）、ただし2012年、2016年、2021年は総務省「経済センサス-活動調査」（従業者4人以上）

注：「経済構造実態調査 製造業事業所調査」と「工業統計」、「経済センサス-活動調査」は集計範囲等が異なるため単純比較できない。

食料品が42.4%と最も多く、次いで化学工業が16.8%を占める

製造品出荷額等の業種構成 < 安八町 >



出典:総務省「令和3年(2021年)経済センサス-活動調査」(従業者4人以上)

注1:「一般機械」=はん用機械器具+生産用機械器具+業務用機械器具

注2:「木材・家具等」=木材・木製品製造業(家具を除く)+家具・装備品製造業

注3:事業所数が少ないため製造品出荷額が秘匿となっている業種は「その他」に含む。

また、「一般機械」、「木材・家具等」は、内訳の業種に秘匿がある場合は、その業種の製造品出荷額は合算していない。(「その他」に含む)

注4:単位未満を四捨五入しているため、合計は100%とならない場合がある。